

ようこそ びしゃもん いせき 毘沙門遺跡へ！

2023年7月2日(日)
毘沙門遺跡現地見学会

山梨県観光文化・スポーツ部 埋蔵文化財センター

2023年5月から7月なかごろまでの約2ヶ月の計画ではじまった毘沙門遺跡の発掘調査。どのようなことがわかってきたのか、発掘現場でご説明します！

1 どうして発掘しているの？

「毘沙門遺跡」のなかでリニア中央新幹線をつくる工事が予定されているため、工事の前に、どのような遺跡なのかを調べ、記録をのこすために発掘調査をしています。

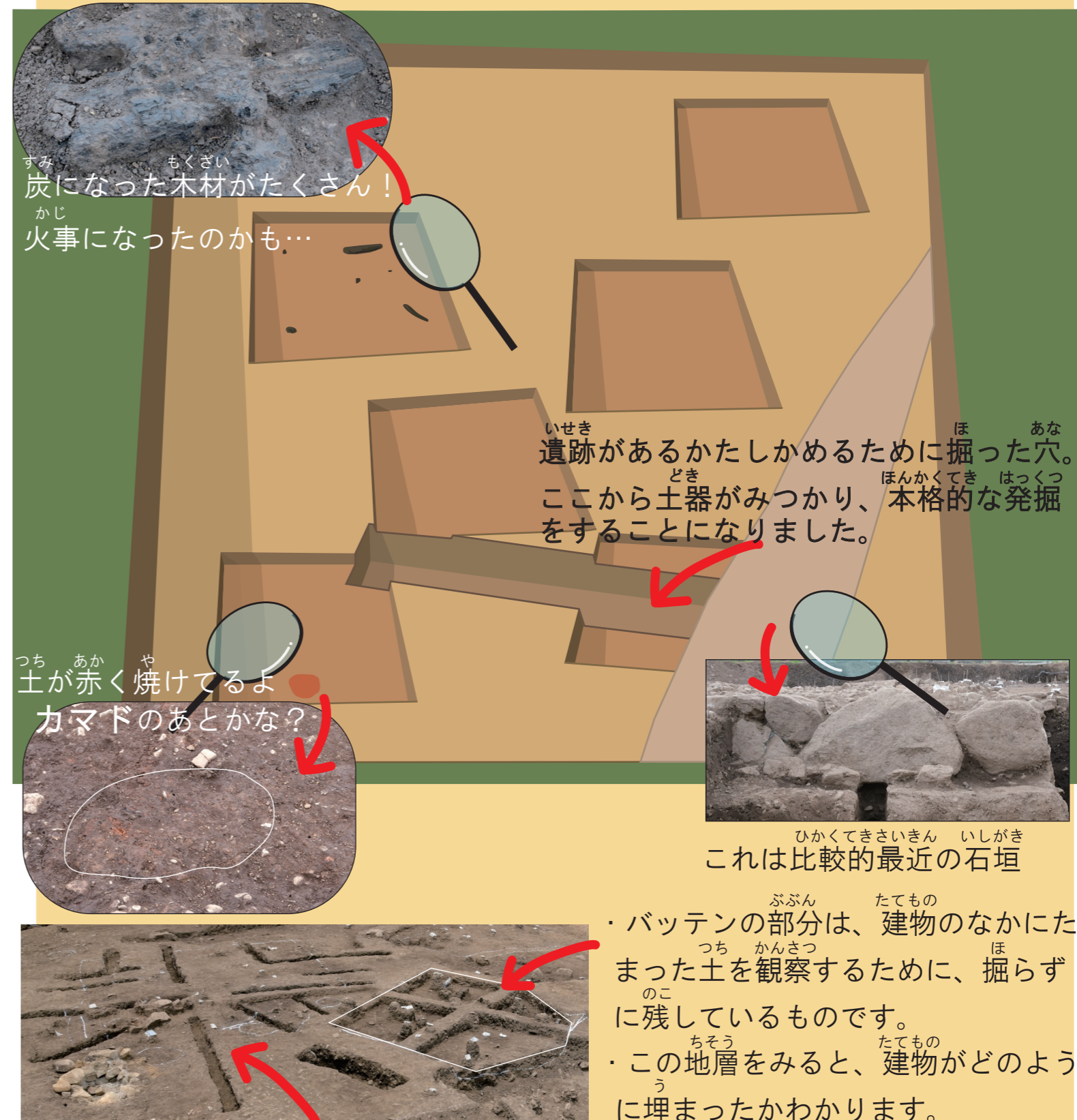
発掘調査の成果は、「発掘調査報告書」という本にまとめます。この本をみれば、工事のあとでも遺跡の内容を知ることができるのです。



↑ 毘沙門遺跡では、2021年度にも発掘調査を実施しました

2 なにがみつかったの？

- ・およそ1,000年前ごろ(平安時代)のムラの一部分が姿を現しました！
- ・建物は、全部で6軒みつっています。
- ・みつかった建物は、地面を四角く掘りこんでつくる、「竪穴建物」です。
- ・建物のなかからは、たくさんの土器のかけらが発見されました。



3 平安時代の家って、立派なお屋敷じゃないの？

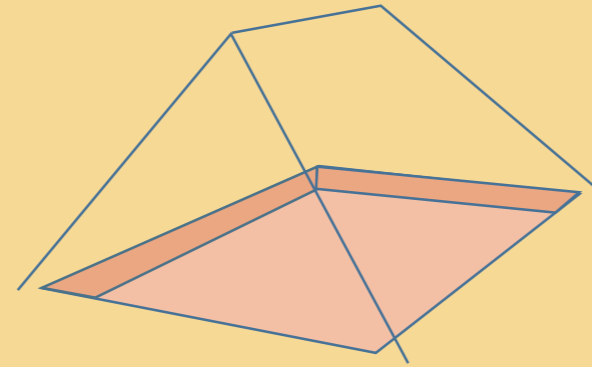
ねんまえ
1,000年前ごろということは、ちょうど
わたし
私のいたところかしら？



むらさきしきぶ
紫式部さん

へいあんじだい たてもの きょうと へいあんじんぐう きょうとごしよ りっぱ
「平安時代の建物」ときくと、京都にある「平安神宮」や「京都御所」のような立派な建物をイメージしがちです。

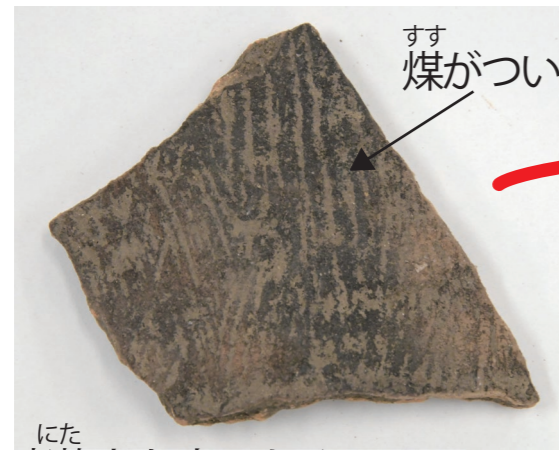
ちほう きぞく しょみん おお
でも地方では、貴族でない庶民の多くは、
じょうもんじだいいらい たてあなたてもの
縄文時代以来の「竪穴建物」とよばれる
はんちかしき たてもの す
半地下式の建物に住んでいました。



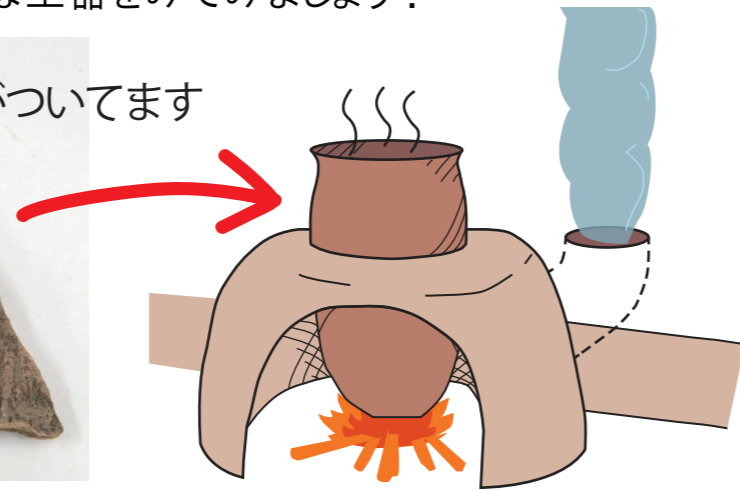
4 いろいろな土器と生活

たてもの はっけん どき
建物のなかから発見された、いろいろな土器をみましょう！

煮る
ゆでる



煮炊きをするカメ



くらべてみよう！

毘沙門遺跡から、およそ 600m

ねん はっくつ ぼうがみね しもむこういせき
・2022年に発掘した、坊ヶ峰のふもとにある下向遺跡。
いしがき どき はっけん さら あしたかこうだい つき
・石垣のまわりから、たくさんの土器が発見されましたが、皿や脚高高台付き坏、それによく似た「柱状高台」だけで、カメや椀などの日用什器はありませんでした。



ちか じき いせき はっけん どき しゅるい ちが
・とても近い時期の遺跡ですが、発見された土器の種類に違いがあるのはなぜでしょう？？



皿さら

も
盛る・よそう



椀わん

貯める



つぼ そこ ぶぶん
壺の底の部分

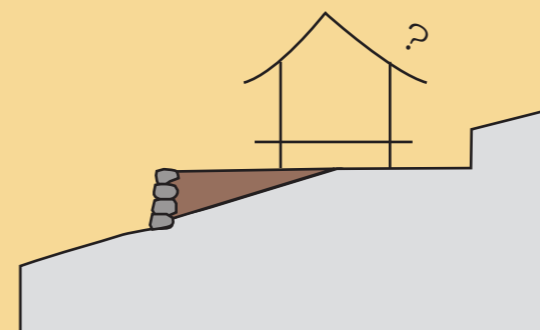


供える

さら した だい どき あしたかこうだい つき
・皿の下に台がつく土器で、「脚高高台付き坏」などと
よ 呼ばれています。皿の上になにかを盛って、お供えし
ていたものと考えられています。

いせき はっけん どき われて
遺跡から発見される土器は、割れていることがほとんど。
てん てん いち きろく まいぞうぶんかさい
1点1点の位置を記録して埋蔵文化財センターへ持ち
かえ せんじょう
帰り、洗浄してから、元の姿に組みあげていきます。

くぎ たすう
釘も多数みつかっていて、
たてもの かろうせい
建物があった可能性も。



※ ご紹介した調査成果は、今後の調査や分析によって変更となる場合があります。